

香 南 市 産 業 振 興 計 画

第 1 回策定委員会資料

議事次第
1. 香南市産業振興計画とは・・・・・・・・・・・・・資料1
2. 香南市産業振興計画に係る位置づけ及び課題整理・・・・・・・・・・・・・資料2
3. 香南市の産業特性・・・・・・・・・・・・・資料3
4. 香南市の産業振興に関する市民意向・・・・・・・・・・・・・資料4

日時:平成 25年 9月27日 午前9時半から
場所:のいちふれあいセンター2階会議室

香 南 市

資料 1：香南市産業振興計画とは

1. 香南市産業振興計画とは

産業振興計画は、「元気でにぎわいのある地域に根ざした夢のある産業を目指す」ため、みんなが知恵を出し合い、みんなの手で、香南市独自の産業振興を進めるための計画であり、行政と民間が共通の目的を持って共に取り組めるような総合戦略となる計画です。

策定にあたっては、高知県や各団体の代表者、有識者等で構成される「策定委員会」及び関係各課の代表者による「幹事会」や「作業部会」を設置して検討を進めます。

この計画づくりにあたっては、「経済の活性化」や「雇用の創出」といったことなどを念頭に、より踏み込んだ形で、本市の産業が成長していくための戦略を示し、産業別の具体的な取り組みに結びつくようなものにしていきたいと考えています。

2. 香南市産業振興計画策定の進め方

<産業振興計画の考え方>

将来に一層の希望を持って暮らせる香南市とするために、行政と民間が共通の目的を持って共に取り組めるような指針となる計画を策定する。

◇検討の視点

- 合併の効果を発揮できる、香南市にふさわしい新しい産業構造の創出
- 自立できる産業の創設
- 付加価値化の試み
- 経済の循環形態の推進
- 外貨の獲得への挑戦
- 資産の拡大

<策定の進め方>

平成 25 年度中に、「策定委員会」を 3 回程度開催し、香南市産業振興の大きな方向性をとりまとめることを目的とします。

なお、「策定幹事会」や「作業部会」は、「策定委員会」の開催前に開催し、より専門的な立場での検討・とりまとめを行います。

	第 1 回委員会	第 2 回委員会	第 3 回委員会
目 標	9 月 27 日	11 月下旬	2 月中旬
主 な 内 容	・ 産業振興計画の概要報告 ・ 香南市の産業の特性 ・ 市民意向調査結果の報告	・ 産業振興の理念と目標 ・ 分野別成長戦略の概要 ・ 地域活性化策の概要	・ 産業振興計画（素案）

<策定の体制と役割分担>

策定にあたっては、以下の体制で検討を進めていきます。

1. 策定委員会

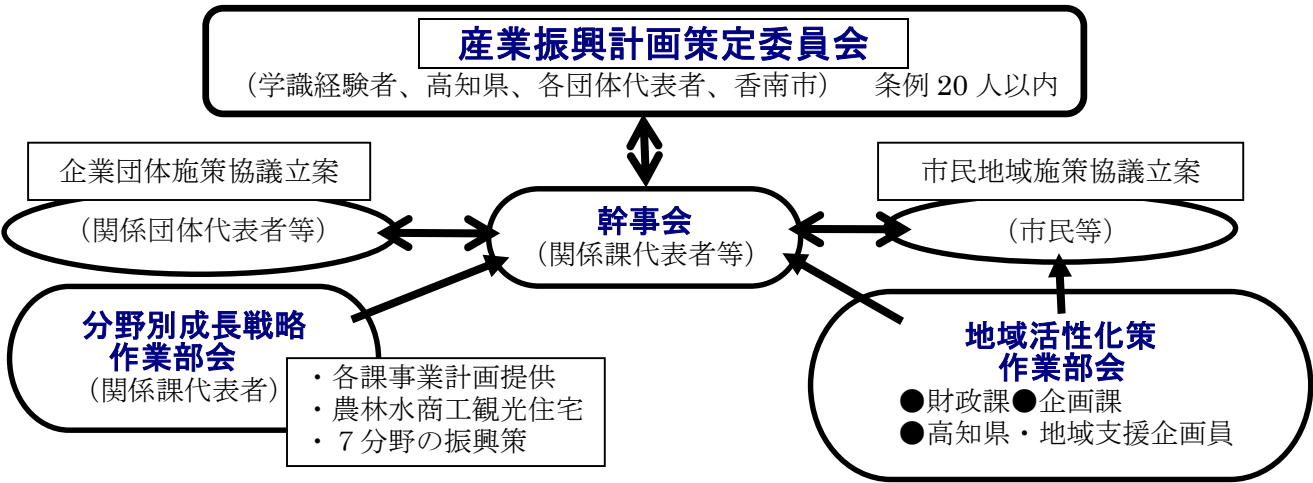
- (1) 産業振興計画の策定
 - ・ 平成 25 年度に香南市産業振興計画の内容を検討し策定を行う。
 - ・ 幹事会で精査された資料の検討議論を行う。
 - ・ 各組織母体で意見調整を行い、策定委員会との連携を図ってもらう。
- (2) 産業振興計画に基づく事業展開の監督（平成 25 年度以降）
 - ・ 振興計画の実施状況、進捗状況を検証し、評価並びに対策を検討する。
 - ・ 各組織母体での評価、連携状況を持ち寄ってもらう。
- (3) 産業振興計画の見直し（平成 25 年度以降）
 - ・ 実態に合った産業振興計画へのグレードアップを検討する。

2. 策定幹事会

- (1) 組織構成
 - ・ 香南市行政に関係する各課の代表者が幹事となり、委員会へ提供する資料等の検討議論を行う。
- (2) 活動内容
 - ・ 分野別成長戦略、地域活性化策の作業部会から上がってきた計画内容を検討し、委員会資料を精査作成する。
 - ・ 各幹事は、関係企業団体と連携し施策協議立案するために意見交換等話し合いを行う。また、市民団体等とも同様に実施する。

3. 作業部会

- (1) 2 つの部会構成
 - ① 分野別成長戦略作業部会 (各課担当者)
行政主導で進める香南市振興計画の 7 つの分野について、産業振興に関わる部門を抜粋し現況をまとめる。また、分野を超えた連携を図っていく。
 - ② 地域活性化策作業部会
現況の地域の活性化とともに、地域（民間）が発案し、産業振興につながる新たな策を探っていく、将来に向けた振興施策を検討する。
- (2) 県地域支援企画員
県地域づくり支援課の支援企画員に全面協力の依頼。
- (3) 地域の活性化並びに産業振興の育成
県地域支援企画員並びに部会構成の各課の担当者は、地域住民や団体が主体となる振興活動を、呼びかけ、掘り起こし、連携し、育成する。
- (4) 物部川地域アクションプランへの発展
県地域支援企画員並びに部会構成の各課の担当者は、育った産業振興活動がより発展し、具体的な産業振興活動を実践出来るよう協力し、物部川地域アクションプランへとつなぐ支援を行う。



資料 2：香南市産業振興計画に係る位置づけ及び課題整理

第 2 期高知県産業振興計画（平成 24 年 3 月）

産業振興計画の推進によって目指す将来像（10 年後の成功イメージ）

地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

- 1 本県の地域資源を使った新しい商品が次々と誕生し、全国、海外において数多く認知されるようになる
- 2 防災や新エネルギーの関連産業が形成され、高知県の産業として誰もがイメージできるようになる
- 3 厳しい時代を生き抜くたくましい産業人材が数多く排出され、各地で活躍するとともに、地域を支える新しい基幹産業が各地に定着し、地域の明るい未来が広がる

【目標設定】

■県際間の収支を改善する
産業振興計画の取り組みによる 10 年後の移輸出額の増加効果 +1,300 億円（試算値）
《参考：平成 17 年の県際収支▲6,678 億円》

■今後 10 年間の人口の社会増減（転入数と転出数の差による増減）をプラスにする
《参考：平成 12～22 年（年平均）の社会減▲2,158 人》

（香南市の具体的な取組）

- エメラルドメロンの販売力向上対策
- ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
- 大学生による地域応援団（サポーター）づくり
- 加工品販売による夜須地域の活性化
- 民有林における素材の増産
- 木質バイオマスの活用に向けての取組

- シイラ等の加工商材活用
- 香南市の地場産品販売促進
- 香南市の商業振興への取組
- 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信
- 広域観光の取組の推進

物部川地域第 1 期産業振興計画の総括（案）

【地域アクションプラン】

対策	課題と今後の方向性
No2.「基幹園芸品目の販売力向上対策」 No3.「基幹園芸品目の産地力強化」	・燃油価格の高止まり⇒増収・品質向上対策、省エネ・コスト低減対策 ・高齢化⇒新規就農者の確保・技術習得支援、農作業受委託システムの構築
No9.「農作物加工等への取組計画」 No15.「シイラの加工商材活用」	・特産品づくりに取り組む事業者の育成 ・商品販売体制の継続 ・原材料の安定確保、新たな販路開拓
No13.「民有林における間伐の推進」 No14.「木質バイオマスの活用に向けての取組」	・林業事業体の育成 ・担い手の育成、確保 ・排出量取引などを活用した需要者の負担軽減の仕組みづくり ・バイオマス燃料の安定供給に向けた仕組みづくりの検討
No21.「体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン」	・広域で連携した滞在型観光メニューの開発

香南市振興計画（平成 24 年 3 月）

将来のまちの姿 美しい水と緑と風に包まれ 元気で豊かに光るまち

主要指標の目標

	平成 17 年	平成 28 年
人 口	33,541 人	35,000 人
世 帯 数	12,544 世帯	13,100 世帯
就業者数	16,794 人	17,500 人

施策大綱	NO	主要な施策
農林業の振興	1	農産物のブランド化の推進と加工品の開発
	2	消費者の安心安全志向への対応
	3	農業生産基盤の充実
	4	担い手対策の促進
	5	農地の保全と活用の促進
	6	有害鳥獣被害対策
	7	森林の多面的な利活用の促進
水産業の振興	8	漁港の改修・整備などの推進
	9	魚場の保全
	10	漁業経営の基盤強化
	11	観光漁業の推進
	12	水産加工品流通販売の推進
商工業の振興	13	既存企業の育成・支援
	14	魅力のある商業地・商店街づくり
	15	空き店舗の活用
	16	新規企業の育成・支援
	17	企業誘致の促進
	18	6 次産業化による新産業の創出
観光のまちの育成	19	観光・交流の拠点の場作りと市民参加
	20	地域に親しむ観光の促進
	21	活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化
	22	情報発信手段の効果的な活用
都市景観・住環境の整備	23	緑豊かな都市空間の創出
	24	住環境の整備
	25	市営住宅の整備

香南市産業振興計画

【目標の設定】

将来像及び目標

農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	住宅分野
------	------	-------	------	------	------	------

目標指標	目標指標	目標指標	目標指標	目標指標	目標指標	目標指標
------	------	------	------	------	------	------

取り組み	取り組み	取り組み	取り組み	取り組み	取り組み	取り組み
------	------	------	------	------	------	------

戦略事業①	戦略事業①	戦略事業①	戦略事業①	戦略事業①	戦略事業①	戦略事業①
戦略事業②	戦略事業②	戦略事業②	戦略事業②	戦略事業②	戦略事業②	戦略事業②
戦略事業③	戦略事業③	戦略事業③	戦略事業③	戦略事業③	戦略事業③	戦略事業③
戦略事業④	戦略事業④	戦略事業④	戦略事業④	戦略事業④	戦略事業④	戦略事業④

香南市の各産業の問題点（案）※

農業	○販売価格の低迷、生産農家の減少と高齢化、後継者不足 ○生産者と消費者の交流できる場の不足 ○有害鳥獣による農作物への被害（森林縮小による影響） ○購買力の低下、消費低迷による農家所得の減少 ○グローバル化に伴う農産物の輸入増
林業	○輸入木材の増加や木材需要の減少による長期の価格低迷 ○採算性の低下による林業従事者の生産意欲の低下
水産業	○輸入増加や食生活の変化による魚価の低迷 ○燃料費の高騰、漁獲量の減少による漁業経営の不安定化 ○食品加工による新たな商品開発の取組不足
商業	○大型店への消費流出、後継者不足による空き店舗の増加 ○商店街の魅力の低下と回遊性への取組不足
工業	○新たな企業立地を促す工業地としての魅力不足 ○生産と流通、販売の分離、加工産業への取組不足
観光	○農林水産業とを結びつける場所の不足 ○観光地周辺のサイン計画、駐車場誘導の不足 ○体験型ツーリズムへの取組不足
住宅	○定住環境の不足 ○市営住宅の耐震化等

※香南市振興計画などから整理

【産業振興計画の構成イメージ】

産業振興計画の推進によって目指す将来像（10年後の成功イメージ）

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

この成功イメージには、「香南市の更なる活性化」を進めるため、第一次産業をはじめとした『地産』を強化し、『自立』できる持続可能な産業構造を創造するとともに、『外貨』獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、「資産の拡大を図りたい」、このことにより「次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市にしていきたい」という思いが込められています。

計画全体を貫く目標①

■例：収支を改善する

【今後10年の見通し】

- 各産業分野の取り組みにより生産額が増加する
- ものづくりの地産地消など、地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

計画全体を貫く目標②

■例：今後10年間の人口の社会増減（転入数と転出数の差による増減）のプラスを大きくする。

【今後10年の見通し】

- 高齢世代の大量退職により、若者の働く場の発生
- 但し、人口自然減により経済が縮み、働く場の規模が縮小
- 新たに仕事に就く若者層は、全国的に少子化により減少傾向

◆産業振興計画により魅力ある雇用の場を創出していくことで、働く場が労働力の供給よりも大きくなり、香南市で育った全員が市内で働くことができる状況へ。さらに、市外からの受け入れも可能⇒人口社会増へ

例：若者が希望を持って打ち込める魅力ある仕事をつくる

◎全国一〇〇が多い市を目指す

例：地域住民が元気に働ける、香南市独自の持続可能な産業構造を構築する

◎全国一〇〇が整った市を目指す

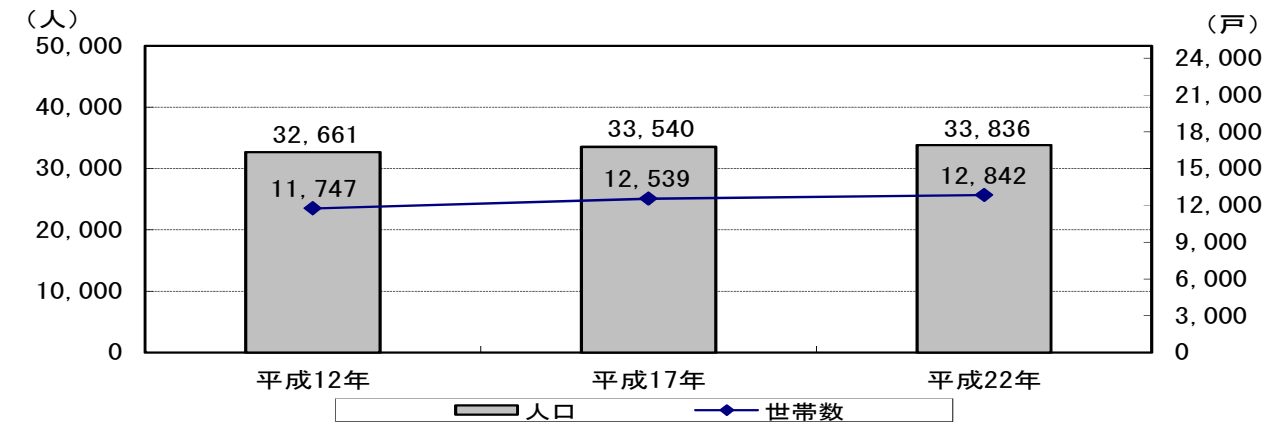
	農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	住宅分野
目標(例)	・地域で暮らし稼げる農業	・山で若者が働く、全国トップ3の国産材産地	・若者が住んで稼げる元気な漁村	・雇用拡大と地域の賑わい	・素材を生かした加工 ・産品を全国ブランドに	・地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業	・定住環境の充足
代表する数値目標(例)	○農業産出額 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円	○原木生産量 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円 ○木材・木製品製造業出荷額等 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円	○沿岸漁業生産額 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円 ○水産加工出荷額 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円	○事業所数 【10年後】〇〇 【●年後】〇〇 【出発点】〇〇	○製造業出荷額等 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円	○県外観光客入込数 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円 ○観光総消費 【10年後】〇〇億円 【●年後】〇〇億円 【出発点】〇〇億円	○住戸数等 【10年後】〇〇 【●年後】〇〇 【出発点】〇〇
分野を超えた連携	① 例：地産地消・地産外商の推進						
	② 例：産業間連携の強化（・食品加工の推進、・観光の戦略的展開 等）						
取り組み	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
戦略事業	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

資料3：香南市の産業特性

香南市の概況

■香南市の概況

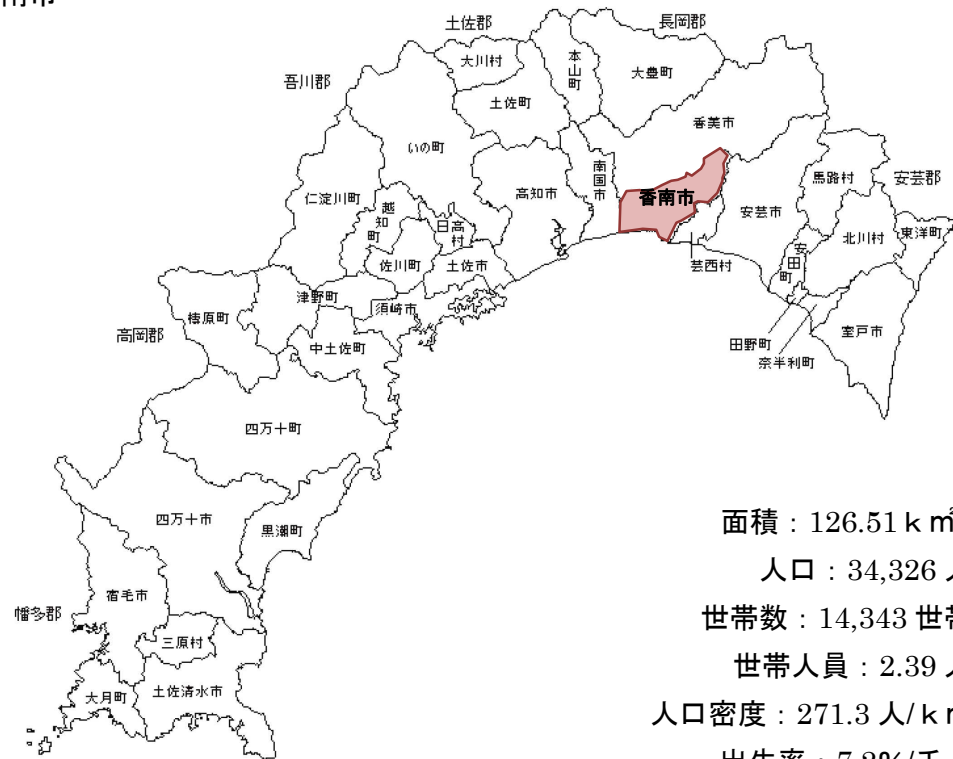
(人口の推移)



(通勤通学者の流出流入先)

		流出先			流入先		
		市町村名	流出口数 (人)	構成比 (%)	市町村名	流入人口 (人)	構成比 (%)
平成17年	第1位	高知市	3,505	35.2%	高知市	1,473	32.5%
	第2位	南国市	2,253	22.6%	南国市	1,127	24.9%
	第3位	香美市	1,131	11.4%	香美市	1,065	23.5%
	第4位	安芸市	479	4.8%	安芸市	366	8.1%
	第5位	芸西村	180	1.8%	芸西村	146	3.2%
	香南市計	流出計	9,960	流出率	流入計	4,526	流入率
平成22年	第1位	高知市	3,349	33.6%	高知市	1,321	34.5%
	第2位	南国市	2,184	21.9%	南国市	1,121	29.3%
	第3位	香美市	1,153	11.6%	香美市	766	20.0%
	第4位	安芸市	495	5.0%	安芸市	308	8.1%
	第5位	芸西村	242	2.4%	芸西村	123	3.2%
	香南市計	流出計	9,873	流出率	流入計	3,825	流入率
		常住人口・通学者数	18,510	53.8%	市内就業・通学者数	16,340	27.7%

■県内での香南市

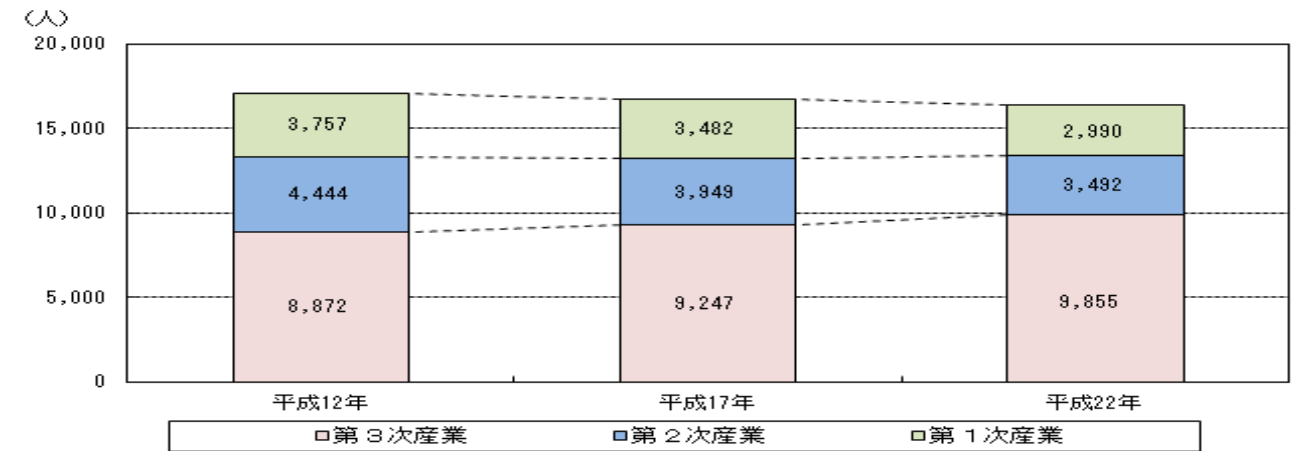


面積：126.51 km² (21位/34中)
人口：34,326人 (4位/34中)
世帯数：14,343世帯 (4位/34中)
世帯人員：2.39人 (1位/34中)
人口密度：271.3人/km² (5位/34中)
出生率：7.2%/千人 (3位/34中)

市の産業構造

■産業人口の推移

項目	人口 (人)	就業者 (人)	就業率 (%)	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
				就業者 (人)	構成比 (%)	就業者 (人)	構成比 (%)	就業者 (人)	構成比 (%)
平成12年	32,661	17,073	52.3	3,757	22.0	4,444	26.0	8,872	52.0
平成17年	33,540	16,678	49.7	3,482	20.9	3,949	23.7	9,247	55.4
平成22年	33,836	16,337	48.3	2,990	18.3	3,492	21.4	9,855	60.3

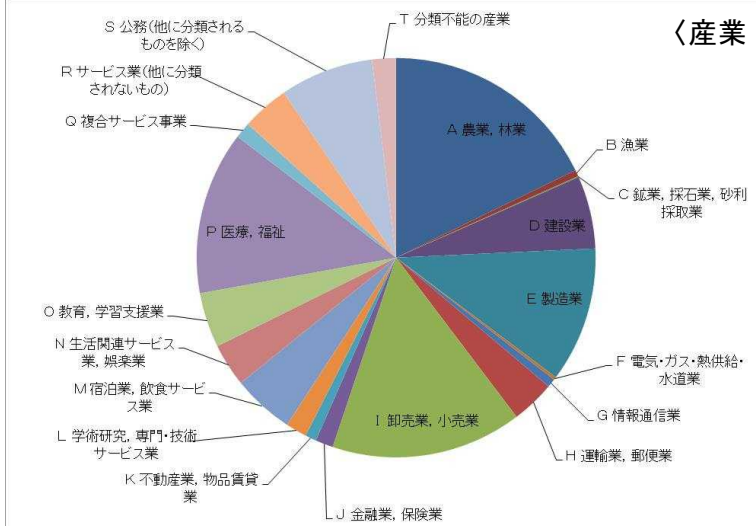


出典) 国勢調査

■産業（大分類）別 事業所数・従業者数・15歳以上就業者数

	事業所数 (※1)		従業者数 (※1)		就業者数 (※2)	
	実数 (所)	割合	実数 (人)	割合	実数 (人)	割合
A～S 全産業	1,358	100%	10,908	100%	16,337	100%
A 農業、林業	7	1%	115	1%	2,906	18%
B 漁業	3	0%	32	0%	84	1%
C 鉱業、採石業、砂利採取業	1	0%	14	0%	15	0%
D 建設業	113	8%	618	6%	959	6%
E 製造業	91	7%	1,590	15%	1,790	11%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1	0%	15	0%	39	0%
G 情報通信業	4	0%	50	0%	113	1%
H 運輸業、郵便業	19	1%	205	2%	576	4%
I 卸売業、小売業	418	31%	2,600	24%	2,529	15%
J 金融業、保険業	10	1%	92	1%	234	1%
K 不動産業、物品賃貸業	70	5%	170	2%	148	1%
L 学術研究、専門・技術サービス業	24	2%	187	2%	281	2%
M 宿泊業、飲食サービス業	186	14%	1,191	11%	816	5%
N 生活関連サービス業、娯楽業	143	11%	605	6%	568	3%
O 教育、学習支援業	69	5%	576	5%	728	4%
P 医療、福祉	93	7%	1,636	15%	2,161	13%
Q 複合サービス事業	20	1%	384	4%	210	1%
R サービス業 (他に分類されないもの)	69	5%	350	3%	624	4%
S 公務 (他に分類されるものを除く)	17	1%	478	4%	1,240	8%
T 分類不能の産業	—	—	—	—	316	2%

〈産業（大分類）別 15歳以上就業者割合〉



※1 出典) 経済センサス-基礎調査 (平成 21 年)
※2 出典) 国勢調査 (平成 22 年)

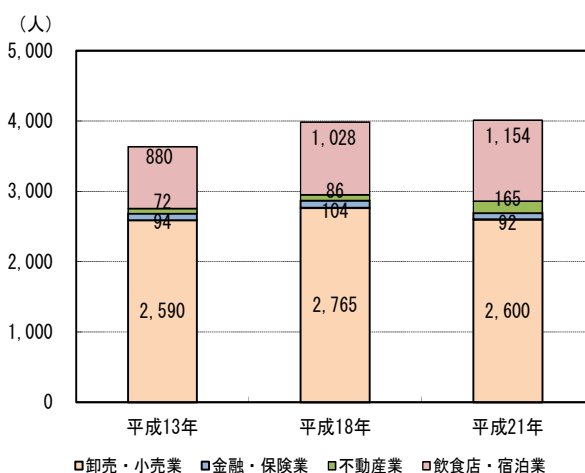
各産業の主要指標の推移

■商業

(事業所・従業者数)

		平成13年	平成18年	平成21年
事業所数	卸売・小売業	498	436	418
	金融・保険業	10	10	10
	不動産業	40	51	69
	飲食店・宿泊業	179	179	181
	合 計	727	676	678
従業者数	卸売・小売業	2,590	2,765	2,600
	金融・保険業	94	104	92
	不動産業	72	86	165
	飲食店・宿泊業	880	1,028	1,154
	合 計	3,636	3,983	4,011

資料：事業所・企業統計、経済センサス



■農林漁業

(農業・林業・漁業)

		平成12年	平成17年	平成22年	平成24年
農業	農家戸数（戸）	1,949	—	1,862	1,697
	農業生産額（千円/1農家）	4710.6	4009.2	5140.0	—
林業	林家戸数（戸）	639	639	639	618
	林業就業者数（人）	X	18	17	17
漁業	漁船数（隻）	190	X	169	169
	漁業就業者数（人）	228	151	168	168

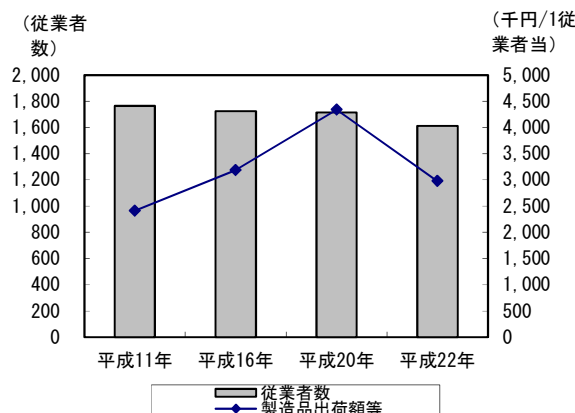
資料：県勢の主要指標

■工業

(製造業)

	平成11年	平成16年	平成20年	平成22年
製造業事業所数 (事業所/人口千人当)	3.25	2.31	1.59	1.28
製造業従業者数 (人)	1,765	1,724	1,714	1,611
製造品出荷額等 (千円/1従業者当)	2,412	3,187	4,340	2,976

資料：工業統計調査



■観光

(主要施設利用者、祭りイベント入込客)

		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
施設	道の駅「やす」	369,466	388,006	401,114	395,151	352,558
	舞川キャンプ場	176	217	222	200	231
祭り・イベント	どろめ祭り	—	6,000	8,000	9,000	—
	絵金祭り	—	16,000	16,000	20,000	18,000
	冬の夏祭り	—	6,000	7,000	20,000	7,000
	香南市みなこい港まつり	—	20,000	20,000	20,000	20,000
	手結盆祭り	—	20,000	20,000	20,000	20,000
	マリンフェスティバルYASU	—	10,000	10,000	10,000	10,000
	香南ふれあい祭り	—	2,000	2,000	2,000	2,000
	海辺のイルミネーション	—	—	2,000	29,000	25,000

資料：県外観光客入込・動態調査

【参考：統計からみた香南市の特徴／地域の特産品】

高知市・南国市のベッドタウン

- 就業者昼夜間率が県内の市の中で**最も低い**：0.83 H22 国勢調査
- 就業者の自市内従業率は南国市に次いで**2番目に低い**：58.7% H22 国勢調査
【市外就業者の就業先】①高知市 40.7%、②南国市 27.8%、③香美市 14.5%
【高知市で働く市外在住者】香南市は第4位（11.5%）
【南国市で働く市外在住者】香南市は高知市に次いで第2位（15.1%）
- 人口千人当たりの事業所数が**県内最下位**：40.02／千人 H21 経済センサス基礎調査
- 1事業所当たりの人数は**県内第7位**：8.03人／事業所 H21 経済センサス基礎調査
- 人口千人当たりの製造業事業所数が**県内28位**：1.28／千人 H22 工業統計調査
- 従業者1人当たりの製造品出荷額は**県内第4位**：2,976万円／人 H22 工業統計調査

若い世代が多く、元気で健やかに暮らせるまち

- 年少人口（0～14歳）比率が**県内第1位**：13.4% H24.3.31 住民基本台帳
- 老年人口（65歳以上）比率が**県内で3番目に低い**：27.3% H24.3.31 住民基本台帳
- 世帯人員数が**県内第1位**：2.39人 H24.3.31 住民基本台帳
- 小学校の児童数が**県内第3位**：1,967人 H24.5.1 学校基本調査
- 悪性新生物死亡率が**県内で2番目に低い**：2.95‰ H23 県健康長寿政策課資料
- 心疾患死亡率が**県内で3番目に低い**：2.00‰ H23 県健康長寿政策課資料
- 女性就業者比率が**県内第4位** H22 国勢調査

地域の特産品

- 日本一の生産量を誇る「にら」
- 「山北みかん」
- 温室メロン「夜須のエメラルドメロン」、「かがみオーシャン」
- 「夜須のルナピエナすいか」
- 「夜須のフルーツトマト」
- トルコギキョウをはじめとする花卉
- 土佐文旦（ぶんたん）「水晶文旦」
- 日本一早く出荷されるお酒
- 「ドロメ」（まいわしやかたくちいわしの稚魚で、ちりめんじゃこになる前の生のもの）、「アジ」「ウルメ」「うなぎ」

出典：総務省統計局・家計調査の品目別消費量・消費額、J AとさかみのHP（特産品）

資料 4：香南市の産業振興に関する市民意向

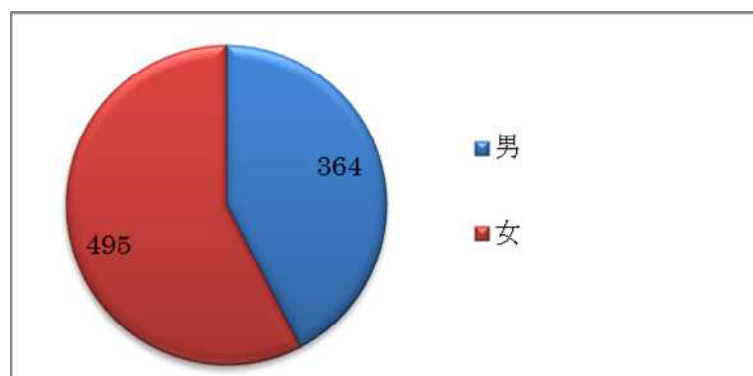
香南市まちづくり構想の策定に係る 市民アンケート調査の集計結果（抜粋）

■実施概要

- 実施期間：平成 25 年 7 月 11 日（木）～平成 25 年 7 月 24 日（水）
- 対 象 者：野市町・香我美町・夜須町・吉川町・赤岡町に居住されている方から
3,000 人を無作為に抽出
- 回 収 率：28.9%（回答者 867 人）

I あなた自身のことについて、おたずねします

問 1. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。
（回答数 859/867＝99%）



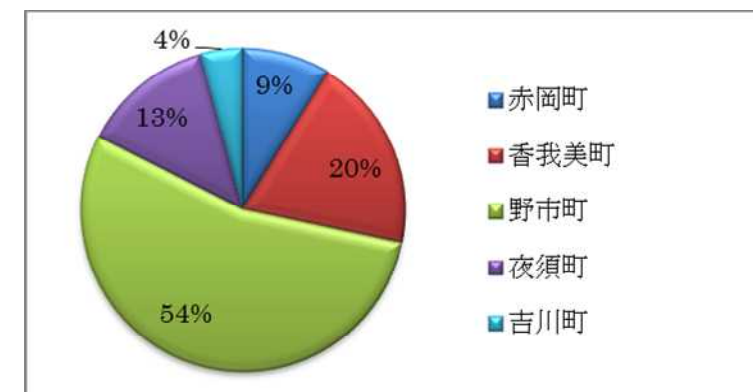
問 2. あなたの年齢について、あてはまる番号に○をつけてください。
（回答数 864/867＝100%）



問 3. 現在、あなたがお住まいの地域と居住年数について、あてはまる番号に○をつけてください。

① 現在、お住まいの地域はどこですか？

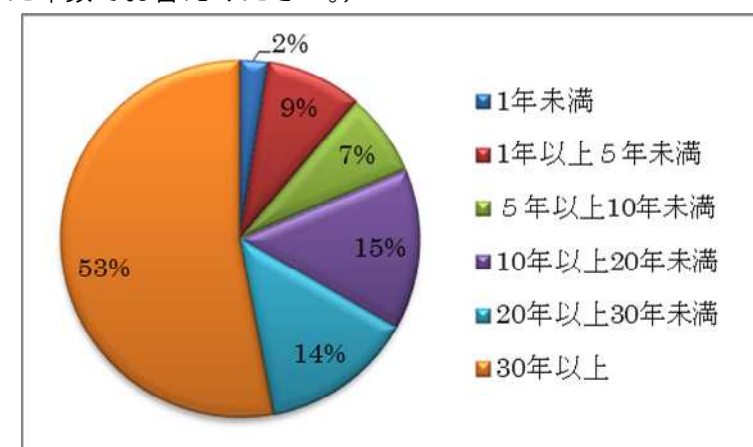
（回答数 866/867＝100%）



② 香南市にお住まいになってどのくらい経ちますか？

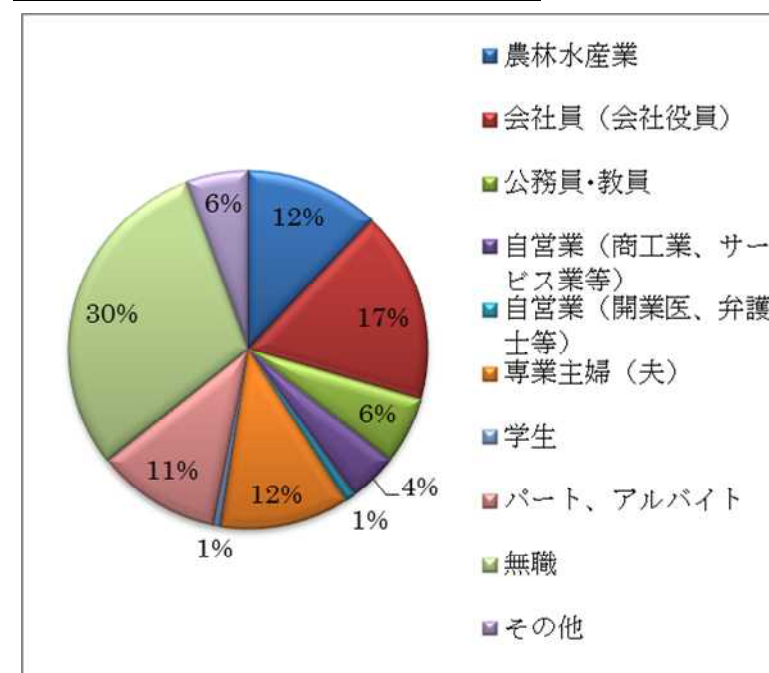
（転居している場合等は、合計した年数でお答えください。）

（回答数 866/867＝100%）



問 4. 現在のあなたのご職業について、あてはまる番号に○をつけてください。

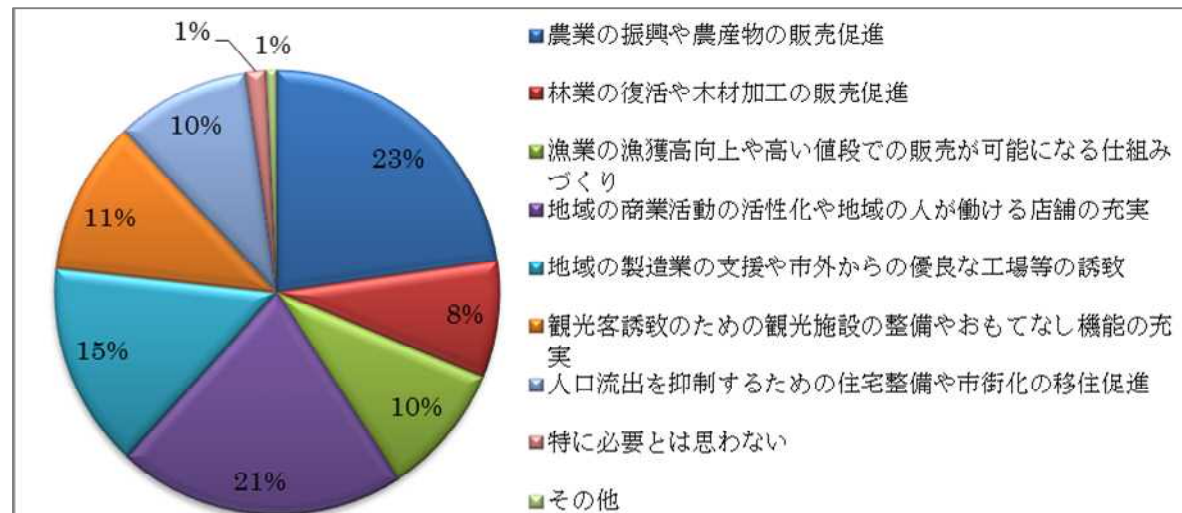
（回答数 858/867＝99%）



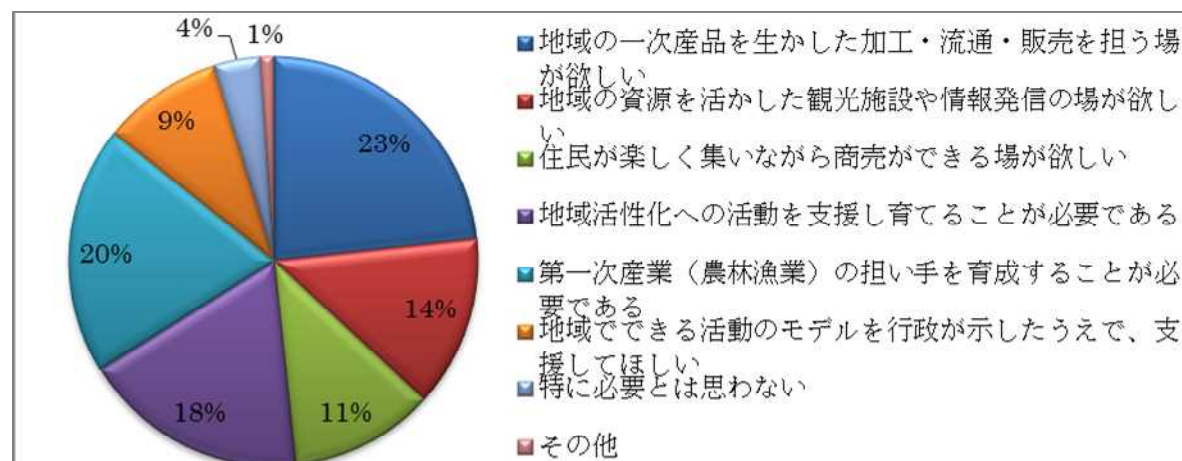
香南市の産業振興について、おたずねします

香南市にとって経済活性化や就業の場を確保することが大きな課題となっています。そのため、平成 25 年度より香南市版の産業振興計画を策定し、事業の推進を行う予定です。計画の策定にあたり、香南市の産業振興に対するあなたのお考えをお聞かせください。

問 1 9 . 産業振興を進めていくにあたり、どのような取組が必要と考えますか？ あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。（回答数 818/867＝94％）



問 2 0 . 地域が豊かで元気になるためには、それぞれの地域に特徴のある活性化センターを整備する必要があると考えています。整備にあたり、具体的にどのような場所や支援策が必要と考えますか？ あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。（回答数 810/867＝93％）



問 2 1 . 本市の産業振興の考え方として、企業に対してどのような対応が必要と考えますか？ あなたの考えにあてはまる番号を 1 つ選び、番号に○をつけてください。（回答数 823/867＝95％）

